

外傷予防 の取組

セーフコミュニティでは、事故やけがの原因を調べるために、様々なデータを分析し、より効果的な取組を実施しています。
 今回は、救急搬送データから見てくる外傷の状況から、注意点と家庭でできる対策をご紹介します!



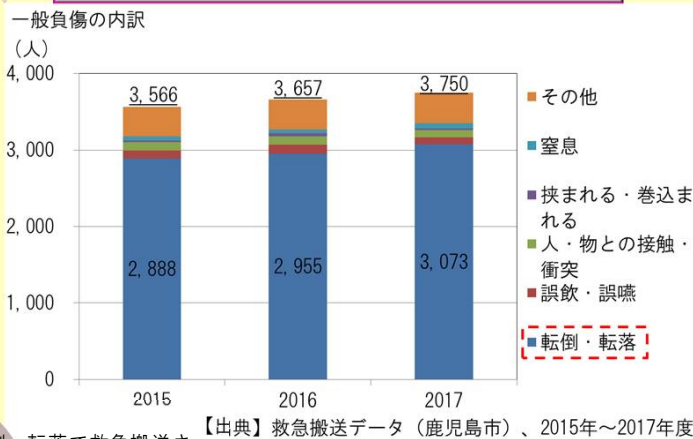
鹿児島市の外傷状況

一般負傷が約6割

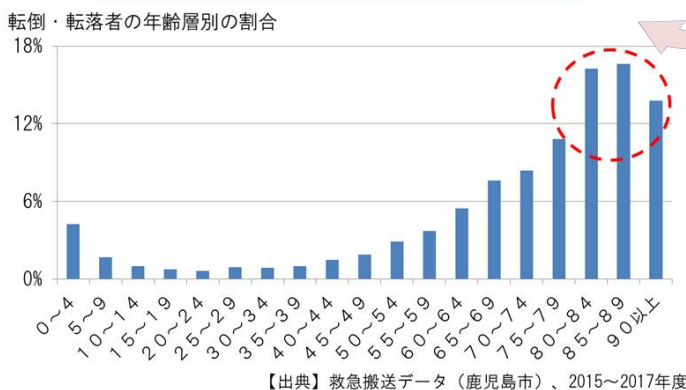


一番多い一般負傷の内訳を見てみましょう!

一般負傷のうち「転倒・転落」が約8割



転倒・転落は「65歳以上」が多い



転倒・転落で救急搬送された人の年齢別割合

■注意点■

高齢者の転倒・転落は室内、中でも居室での発生が多くなっており、転倒の外的要因としては、「滑りやすい床」「暗い廊下」「段差」等が挙げられます。住み慣れた自宅は安全だと思いがちですが、わずかな段差でもつまずく原因となります。

■対策■

転倒の起こりやすいところをチェックし、住環境を整備することで、転倒やけがを防ぎましょう。

●ご家庭でできること●

- 家の中でスリッパをはかず、素足かすべり止めつきの部屋履きをはく
- 新聞や雑誌を散らかしたままにしない
- 小さな段差に目印のテープを貼る など



セーフコミュニティ情報お届け掲示板

第6回 セーフコミュニティ推進フォーラム を開催しました!!

1月17日(木)に、鹿児島市民文化ホールで開催しました。当日は、**400名**もの方々にご参加いただき、活気あるフォーラムとなりました! フォーラムの開催内容をいくつかご紹介します。



○講演
 気象予報士の半井 小絵さんより、「気象と防災～情報の活用～」と題して、講演いただきました。

気象庁が発表する、各種警報等についても意味を理解し、どのように行動すればいいのかを日頃からイメージしておくことが大切です。



園児たちのかわいらしい姿に、癒されました。



吉田南幼稚園の園児によるマーチング演奏



○転倒予防ミニレクチャー
 講師の保健師さんからは、「家中での転倒が多いので、自宅の動線に転倒の原因となるものがないか確認して欲しい。」などのお話があり、来場者の皆さんと「らくらく体操」に取り組みました!!

鹿児島市では、WHO（世界保健機関）が推奨するセーフコミュニティに取り組み、**28年1月29日に国際認証を取得**しました。

鹿児島市 危機管理局 安心安全課 セーフコミュニティ推進係（市役所東別館3階）
 TEL：099-216-1512 FAX：099-226-0748

